

三谷の植物

2018・9・21

IMANISHI

今年もタムラソウ（キク科）が咲き始めました。

こちらはアキノタムラソウ（シソ科）
(ハルノタムラソウもあるらしいがまだ見たことはない)



花粉を出す前 → 雄性期（白い花粉が出ている） → 雌性期（2分した柱頭が出ている）



ツルニンジン（キキョウ科）

別名：ジイソブ（爺のソバカス）、バアソブ（婆ソブ）もある、爺より小さく、ソバカスも多い



バアソブ（花は2cmほど、紫色がかかる）



スズサイコ (いつも昼には閉じているが、雨模様だったので開花中、星形がきれいに見えていた)



ヒヨドリバナ (紫がかった個体はフジバカマと紛らわしいが、フジバカマの葉は三裂する)



オミナエシ



アレチヌスビトハギ (果実は3~5節まで)

服にくっついて面倒な草だが、花をよく見ると目玉を持つ顔のようで可愛い?



← ツルボ (春に葉を出し球根を育て、夏は姿を消す、秋に穂を出し咲く)

ミズヒキ (紅白の水引に見える?)

フジカンゾウ (果実は2節でムスビトハギと同じだが、1m程度に大きくなる)



ヤブマメ (地中にも閉鎖花をつくる)

ヤブズルアズキ

ヤマジノホトトギス

